

校内情報化推進計画

沖縄市立越來小学校

1. 情報教育のねらい

コンピュータを主とした情報機器を適切に活用する学習活動を充実させることにより、児童の学習への意欲、関心を高め、将来の高度情報化社会を生きる上で必要となる「情報活用能力」を育てる。

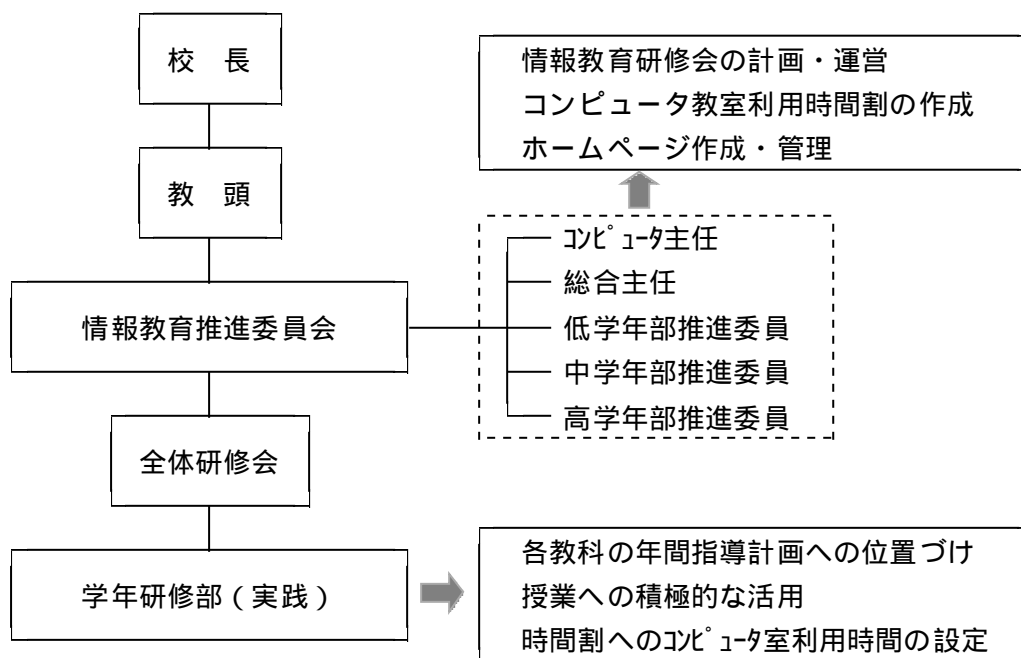
2. 情報教育推進の基本方針

- (1) 情報教育を推進するにあたっては、その方法、内容について全職員の共通理解を図り協力して推進する。
- (2) 情報教育にかかわる研修会を計画的、継続的に推進し、本校のすべての教師がコンピュータを活用した授業が行えるようにする。

3. 本年度の取り組みの重点

- (1) 年間指導計画をもとに、児童のコンピュータ活用技能の習熟を図る。
- (2) 児童に情報モラルを身につけさせる。
- (3) 全教職員がコンピュータを効果的に活用した授業を行う。
- (4) ホームページの更新・充実

4. 情報教育推進のための組織図



5. 留意点

コンピュータ室の利用にあたっては、必ず第一時目にオリエンテーションを行い、マナーを守って全児童、教職員が気持ちよく利用できるように指導する。

6 . 情報教育における各学年の目標と具体的内容

	ねらい	重点目標	具体的な内容
1 学 年	遊び的な活動を通してコンピュータに親しみ、基本的な操作をすることができる。	コンピュータの操作に親しむ。	パソコンの部分名称が分かり、起動・終了などの基本的操作ができる。 マウスの基本操作ができる。 スタンプ機能を使って日本語入力ができる。 パソコンの使い方のルールを守る。
2 学 年		コンピュータの操作が正確にできる。	パソコン及びソフトの起動・終了ができる。 データの保存・読み込み・印刷ができる。 ソフトキーボードを使っての日本語入力
3 学 年	一人で基本的な操作ができ、課題解決や表現活動の中で情報活用の実践力を身につける。	インターネットに親しむ。	キーボードを使って文字入力（ローマ字）ができる。 「スマイル」を使って簡単な文書作成ができる。 ホームページの内容が読みとれる。
4 学 年		インターネットで積極的に情報収集ができる。	デジタルカメラを使って情報を記録することができる。 インターネットを使って簡単な情報収集ができ、仕組みについて理解することができる。 文字や画像のコピー、切り取り、貼り付けができる。
5 学 年	学習内容に応じて効果的にコンピュータを活用し、主体的な情報収集、情報選択、表現、発信ができる。	主体的に情報の収集、処理、選択ができる。	ワープロソフトを使って文書を作成できる。 「発表名人」を使って簡単なプレゼンテーションができる。 電子メールを活用し、情報収集ができる。 個人情報、著作権について理解する。 情報の収集、選択、判断ができる。
6 学 年		コンピュータを使って主体的に自己表現ができる。	コンピュータを効果的に活用し、学習内容に適した方法で学習を進めることができる。 プレゼンテーションソフトを活用して、調べたことを効果的に発表できる。 電子メールを活用した相互交流ができる。 情報モラルについての理解を深める。